

議会維持に向けた課題

本村議会の議員構成は、農林業との兼業が主であることや若年層の議員がいないことなど、村民の構成との間に大きな隔たりが見られる現状である。

村民の皆様のご意見やお考えを調査できておらず、正確に把握できていないが、2年後に迫った村議会選挙において議員の担い手を確保し、村議会を維持していくために課題であると考えられることは、以下のとおりではないか。

- (1) 行政に対しても議会に対しても村民の関心が薄れてきているのではないか。誰かに任せておけば誰かがしてくれる、という考え方が定着してしまっているのではないか。

- (2) 様々な職業や年齢層の方が議員となることは理想であるが、本村では公的な職業についているため兼職兼業の禁止などにより議員となれない方が多いのではないか。

- (3) 現在の議員報酬額の水準では、専業として議員となり生活をしていくのは大変ではないか。特に議員をしながら子育てをしていくのは困難ではないか。

- (4) 人口が少なくなっている本村においては、生業のほかに各種公的な役職を1人で数多く担っていただいている。そのような方が参加しやすい議会となっているか、検討が必要ではないか。